

鴻 koh

月刊俳句誌

令和4年11月1日発行
(毎月1回1日発行)

第17巻第11号 通巻197号

11 月号

2022



◎

伊予青石紀州青石鶉の声

飛石を跳んで木歩の忌でありぬ

尾の美しき鳥来て秋の整へり

芭蕉庵小さな秋の来てゐたり

秋うらら遊行柳へ歩かうか

遊子吾れ雁くる空を疑はず

蕉翁の矢立始めの句碑に秋

とんぼとんぼ前途三千里の旅よ

風船葛静寂の風に詩があり

よき声のあり色鳥のくる一樹

花を閉づ前の明るき酔芙蓉

僧正忌鬼の捨子に宵の来て

花野までゆく蟠り捨てにゆく

小さな秋

主宰作品

増成栗人

荒川心星



秋茄子

コスモスの道亡き母の好きな道
久に來し山よ小川よ孟蘭盆会
つくつくし汝も母許の歌なるや
蓑虫の風と戯れぬたりけり
敗戦忌森の筈の戻りくる
生きるもの生かさるるものありて秋
しづけさの重なつてゆく猪威し
糠床に秋茄子二つ妻癒えよ

深吉野も熊野も遠し秋に入る

青北風や運河は海へたふたふと

御陵みち葛蔓が空探りをり

天の川夢に亡き人いきいきと

行けぬ地へ続く空なり小鳥くる

身の内のどこか疲るる野分あと

白粉花や子がちりぢりとなる夕べ

十五夜の空を青しと思ひけり

野分あと



半谷洋子

蒼韻集

ごころごころ

赤峰ひろし

めまとひをくぐりて渡る太鼓橋
一面の白山はくさんいちげ一花見上げけり
あの時は麻刈り奉仕長崎忌
行く方に影ある安堵雲の峰
花莫座にごろりごろりと大の字を
糠味噌の茄子を八月十五日
もうすこし生きる気力を麦こがし

マリリン書店

横井 遥

家までの距離と西瓜の大きさと
市長さん祭り浴衣の似合ひけり
せめぎあふ大きな雲と太き虹
蟬交尾見てゐる我を見られをり
キヤッチャーの後ろ大きな百日紅
鉛筆画の「マリリン書店」秋に入る
騙し絵に騙されてゐる良夜かな

星月夜

石田蓉子

悪態をぼろりと滝の前にある
色淡き風鎮買うて大暑かな
櫛の齒のぼろつと欠けし朝ぐもり
夫留守の星ひとつなき熱帯夜
雅なる名ばかり城の牡丹園
ふかぶかと息放ちけり秋の空
些細なることなど忘る星月夜

舟一艘

小澤 元

秋櫻子句碑にとうすみ蜻蛉かな
娘に伴はれ杖の身を盆の寺
みんみんにつくつく法師和す季ぞ
帰りし子の遊具を洗ふ晩夏かな
玫瑰や舟一艘を遺し逝く
妻の得手なる里芋の煮ころがし
雨余の闇なり虫ごゑの透きとほる

火の濡れて

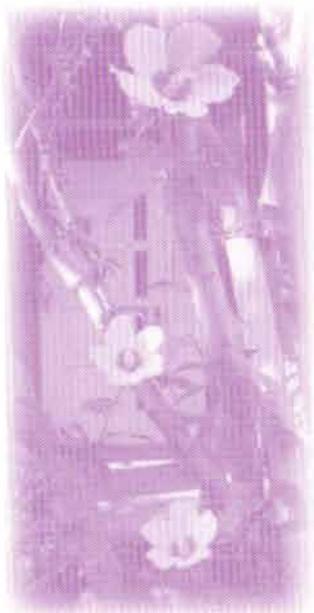
中村世都

月見草象の眼いつも潤みをり
山里の大暑ゴツホの黄がうねる
南瓜だけ残りぬ無人販売所
送り火を囲む目に火の濡れてゐる
揺れだして逢魔が時の白木槿
ヴァイオリンの不協和音よ八月尽
ダイズニーメドレーコスモスの揺れやまず

逆様に

岩佐 梢

空蟬に鋼の手脚ありにけり
ややありてまた蟬の木となりゐたる
八月五日三宅一生が逝く
ひとりの餉うなぎ茶漬をさらさらと
秋立ちぬ韃韃蕎麦のうこん色
ポイントで買はうかシャインマスカット
ジーンズを逆様に干す終戦日



アイウエオ順
毎月順掲載します。

帰省

山口民子

又来るねと言葉を残し帰省の子
暑中見舞を出さずに友にメールかな
大雨に庭一番の赤きバラ
手を振つて大きな荷物の子の帰省
狂咲く大木蓮の天をつく
御田植の復活汗の止めどなく

大花火

山崎正子

合歓の花足湯にしばし浸りある
輪廻転生引潮どきの蟬しぐれ
間を置かぬ老鶯の声慕訪はな
師の墓を覆ふ松が枝虹立てり
空に沖あり追悼の大花火
鴨足草水音に暮らしありにけり

祭どき

ありかわみのる

老鶯のこゑの染み入る山の町
朝草刈退職漢が買つて出る
祭どき耳底を打つ笛太鼓
空蟬のまなこの光る軒の下
雲切れて上毛三山秋に入る
星合や遠くにありて近きこと

帰省

五十嵐敏子

コロナ禍のトンぼ帰ると言ふ帰省
欣喜雀躍秋風鈴の高鳴りす
余命知るや灯に身を打てるちから蟬
転げるも生きる一芸天道虫
大阿賀の青田もたげて美しき
コロナ禍の長き昼倦む一ト夜酒

手花火

伊藤啓泉

産土のをろがむ老の草いきれ
紙魚走る十一代目の文書箱
手花火を胸元遠く持つ児かな
昼顔や老いに鞭打つこともあり
蜘蛛の囲をかぶる漢の声哀し
凌霄の血潮あふるる草田男恋

金糸梅

河合公八郎

里山の彼方此方みんな蟬が鳴く
沖にヨット風に白波ざわざわと
金糸梅咲くは鎌倉大巧寺
蟬時雨北鎌倉の賑やかに
秋海棠風さやさやと里の道
明月院の庭広々と百日紅

帰省

山口民子

又来るねと言葉を残し帰省の子
暑中見舞を出さずに友にメールかな
大雨に庭一番の赤きバラ
手を振つて大きな荷物の子の帰省
狂咲く大木蓮の天をつく
御田植の復活汗の止めどなく

大花火

山崎正子

合歓の花足湯にしばし浸りある
輪廻転生引潮どきの蟬しぐれ
間を置かぬ老鶯の声慕訪はな
師の墓を覆ふ松が枝虹立てり
空に沖あり追悼の大花火
鴨足草水音に暮らしありにけり

祭どき

ありかわみのる

老鶯のこゑの染み入る山の町
朝草刈退職漢が買つて出る
祭どき耳底を打つ笛太鼓
空蟬のまなこの光る軒の下
雲切れて上毛三山秋に入る
星合や遠くにありて近きこと

雲の峰

北川博司

暮れどきの静寂を破る蟬時雨
雲の峰関八州を統ぶること
山の日やベンチで憩ふ婆二人
七夕の杜の都へ一夜旅
妻の忌や烏丸口に虹の立つ
いちにちをクレープシャツで通しけり

夕かなかな

坂入喜代枝

草の絮とぶ川筋を行きもどる
青鷺をとどころに日の暮るる
昼顔の明日咲く蕾歩をとどむ
秋夕焼魚跳ねし音に振り返る
夕かなかな儂き声と思ひけり
つくつくぼふしつくつくぼふし日の暮るる

草雀る

田部富仁子

露の朝身まで濡らして草雀る
向日葵のみな東向き日は西に
咲ききつて向日葵雨に打たれぬる
火の山に一朵の雲よ大根蒔く
寧日の晩年と言ふ涼しさよ
冷し酒在所訛の濃くなりし

「大森・貝塚の聖地」

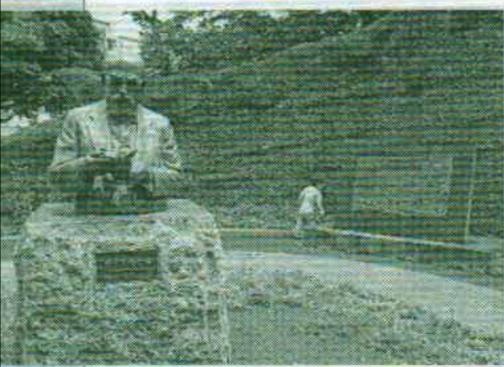
鈴木 崇



滝王子稻荷神社には湧水池がある。池は樹齢三百年を超えるタブノキの緑陰に隠れている。湧き出た水の流れは暗渠化した鹿島川の源流にあたる。

貝塚を築いた縄文集落は海と川の恵みを享受できる好立地で暮らしていたわけである。

池上通りを大井町駅へ目指して歩いて行くくと三ツ又地藏尊にぶつかる。近くの納経堂から掘り出された地藏を古い三叉路に祀ったのがはじまり。今でも地元の人から大事にされているお地藏さん。かつての三叉路は現在、五叉路である。人の流れはせわしくなっても、お地藏さんは静かにこの交差点を見守っている。



大森・モース博士像

命名者だったとは！ モース博士への尊敬の念が増した。

街道沿いには品川歴史館がある。充実した展示内容で品川の歴史を学ぶことができる。吹き抜けの壁面に映像資料が映し出され、旅籠屋をイメージした2階のスペースから眺めると、品川宿の気分をパーチャルで味わうことができる。なかなか凝った趣向だ。自由に持ち帰れる解説シートも読みながあつてうれしい。2階ロビーにはもちろんモース博士と大森貝塚に関する常設展示がある。

この辺りには「水」にまつわる史跡が多い。品川歴史館近くの光福寺の境内に「大井の井」と呼ばれる横穴式井戸がある。「大井」の地名はこの井戸に由来する。

JR東海道線・京浜東北線の線路を越えた交差点の角に大井の水神社がある。この地に湧く地下水のそばに柳の木があつたことから、江戸時代には「柳の清水」として知られていたという。ひっそりとした佇まいで、夏場は蛍も見られるそう。

JR大森駅から鎌倉街道を品川方面へ歩いて行くと大森貝塚がある。1887年にエドワード・S・モースが列車で横浜から新橋に向かう途中、車窓の崖に貝殻が積み重なっているのを発掘した。

現地に行つて知つたことだが「貝塚碑」は二つある。一つは企業ビルの脇を入つた線路ぎわの「大森貝塚」碑。もう一つは大森貝塚遺跡庭園内の「大森貝塚」碑。ちなみに前者は大田区、後者は品川区が建てたもの。発掘地点の記述があいまいだったことによるものだそう、その後の調査では品川区説が有力とのこと。

遺跡庭園内にはモース博士の銅像が建っている。縄文土器を手にするその姿は立派だ。

大森貝塚からの発掘品には大量の貝殻のほか、土器や土偶、石斧、石やじり、骨角器などがある。モースは発掘した土器に「コード・マーク」と名付けた。土器の表面に縄目模様が付いていたからである。「コード・マークII縄文」、モースが縄文の



羽音集

谷口摩耶 選



今日泊る大夕焼の白馬村
連なりしテールライトよ夏の果
清水汲む立て看板に熊注意
梅仕事ひとまづ置いて昼餉かな
タイ人の繕ひのある白いシャツ
ラムネ飲む空の青さも一息に
青春の欠片からからラムネ飲む
百のトマト百の朝日を浴びてをり
おべんとは母子の会話プチトマト
星涼し留学の子を見送りにて
誰も彼も異口同音の残暑かな
手賀沼の傍の稔り田鷺一羽
汗ふいて真昼のサンバカーニバル
夕風の沖へ沖へと舟が向く
敗戦忌びたりとドアの閉まる音
忘れぬし備忘録あり盃蘭盆会
言ひかけし言の葉一つ桃をむく
風少し焼き茄子の皮はがれゆく
脳トレの間違ひ探しメロン食む
片翅の蟬を梢へ戻しやる

松戸 綾戸五十枝

船橋 菊池ひろ子

流山 中内敏丸

柏 高橋 詩

乗庵閑話 53

虫丸



多作多捨 俳句は
多く作つて
多く捨てると
教わりました
一方で量より質なんて
ことも言われます

心惹かれた
ものから浮かんだ
言葉を手掛かりに
そのことを
一番端的に
伝えられる



かたちを
探るのが
俳句だ
そのための
方法やコツと
言ったような
ものは
ひたすら
俳句を作る
ことの
繰り返し
からしか
掴めない



そう考えれば
少なくとも初心の内に
おいては
量こそ質を
高める最良
の方法では
ないのかな

ナルホド！
量が質を
高めるん
ですね



アナタの場合は
量が質を高める
のじゃ
なく
コレ
ステアロールを
高めるの！

ナル
ホド
じゃない
ヨ、
フ、

<http://www.haisi.com/koh/index.htm>